

マイナンバーカードを活用した地域手続基盤の 整備と銀行サービスの仮想化について

サービス概要

マイナンバーカードとQRコードを活用した、汎用性の高い各種手続アプリ

● 手続の流れ



- 銀行窓口での各種手続（住所変更、口座振替契約等）の非対面化ツールとして利用するほか、民間事業者や自治体にも利用開放※し、地域全体のデジタル化ツールとして活用

※次の利用シーンを想定

民間事業者…利用申込 + 料金支払がセットになる手続（例：学習塾、スポーツジムなど）

自治体…税金等の口座振替手続

- サービス導入時の費用や運用に関する負担を極力低減することにより、中小企業・個人事業主でも導入しやすいスキーム

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

アプリ概要

■ 主な特徴

マイナンバーカード認証

- ✓ 犯収法に対応した本人確認
- ✓ Androidではカードレス対応予定

簡易な手続追加

- ✓ QRコード作成のみで手続追加
- ✓ 費用も時間もほとんどかからない

独自の認証技術を実装（特許出願済）

- ✓ 住民票情報と銀行情報を照合
- ✓ 暗号化して自動照合（初回除き）

QRコード対応（特許出願済）

- ✓ QRやリンクから手続き可能
- ✓ Webサーバが不要で事業者が安価に導入可能

強力な入力支援

- ✓ 住所、氏名、生年月日、電話番号
- ✓ 金融機関情報等は自動入力

柔軟な機能拡張性

- ✓ 電子契約にも対応可能

■ 可能となる手続きの例

銀行手続き

口座振替

住所変更

各種申込

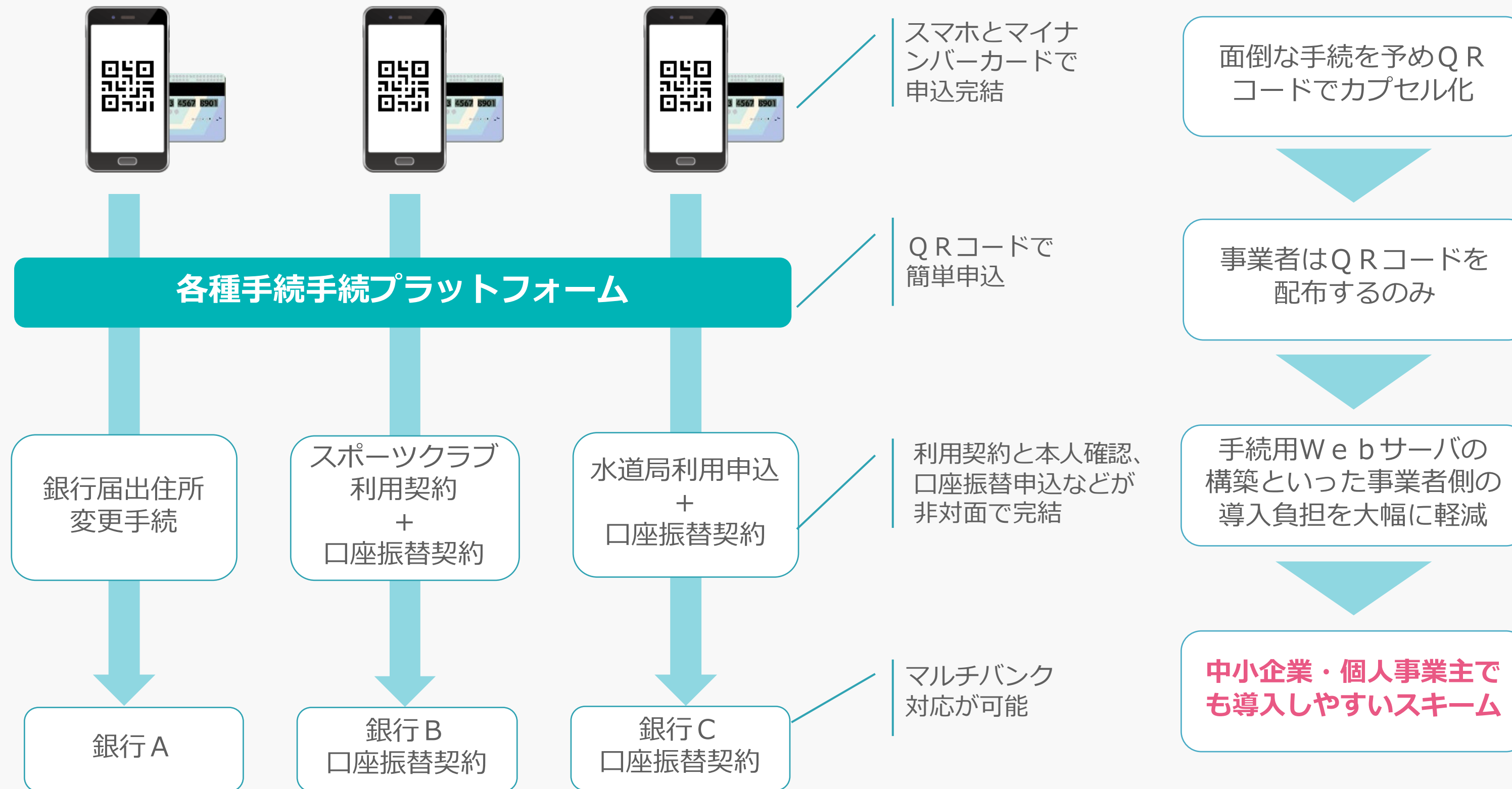


民間手続き

各種申込

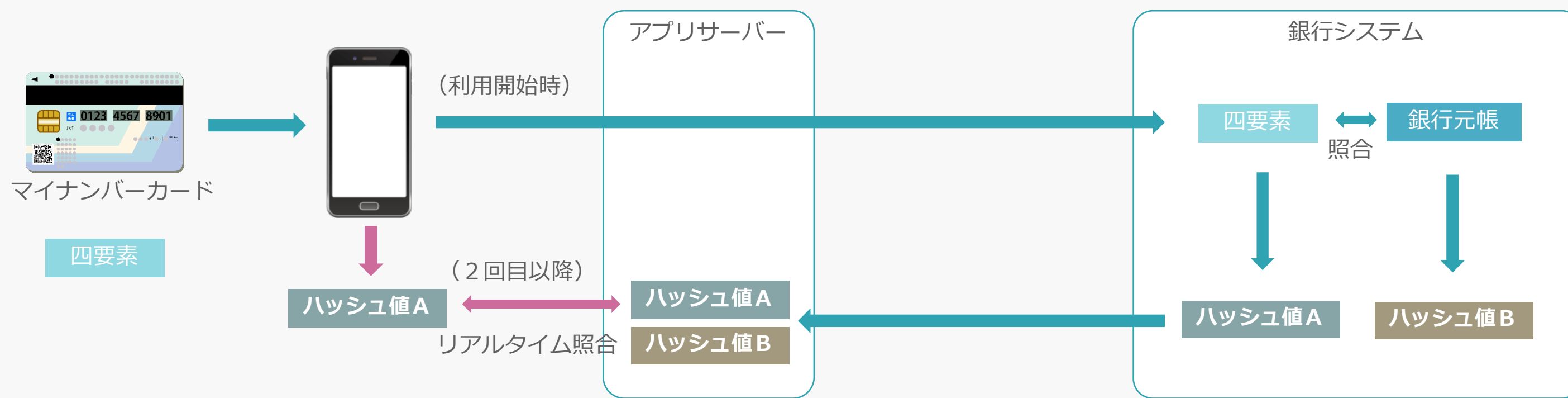
片務契約

様々な手続きをまとめて電子化



JPKIを活用した非対面での銀行手続

- ✓ マイナンバーカードの氏名、住所、生年月日、性別（以下、四要素）と、銀行に届出している氏名、住所、生年月日、性別（以下、銀行元帳）の一致をもって従来の印鑑照合に替える
- ✓ マイナンバーカードの四要素と銀行元帳の四要素をそれぞれハッシュ化して照合する仕組み
- ✓ アプリ利用開始時に銀行側で両者を照合し、ハッシュ値のペアを保管
- ✓ 以後は保管しているハッシュ値と、取得したハッシュ値を比較することにより、迅速に本人確認
- ✓ 日次で銀行元帳の変動をチェックし、変動があった場合は、変動前のハッシュ値でアプリサーバーを検索してレコードを削除



QRコードへの手続記述

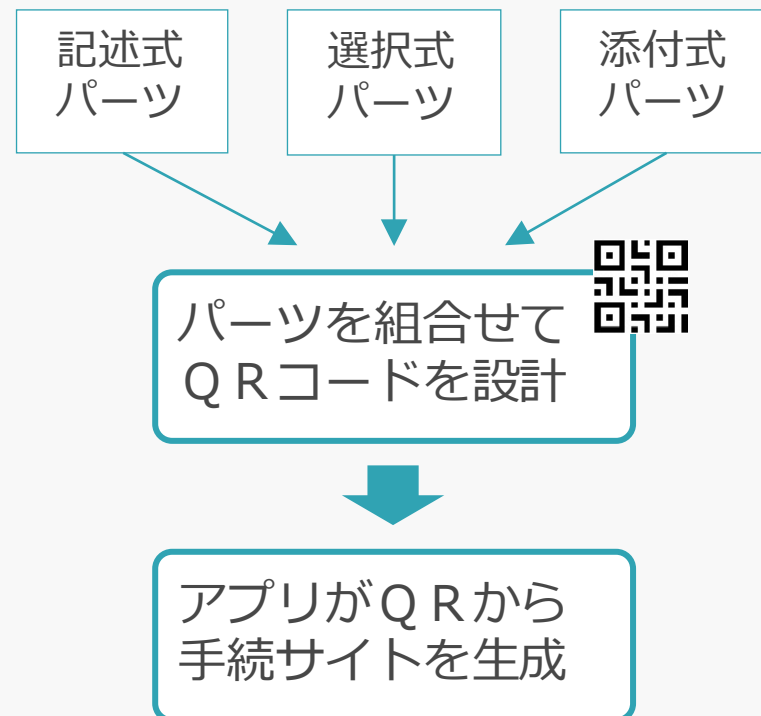
従来の電子手続



- 手続サイトの構築
- 手続追加のシステム対応
- 厳格なID管理
- 認証機能の実装

中小企業には負担が重い
+
稼働や手続追加に時間がかかる

本サービス (特許出願済み)



マイナンバー
カードと組み
合わせれば

- 手続サイトの構築不要
- 手続追加が容易
- ID管理不要
- 認証機能の実装不要

費用負担が軽い
+
速やかな展開、追加が可能